



Twitter 開設中！

@jtsue_yamanashi

2023.9.15 No.6

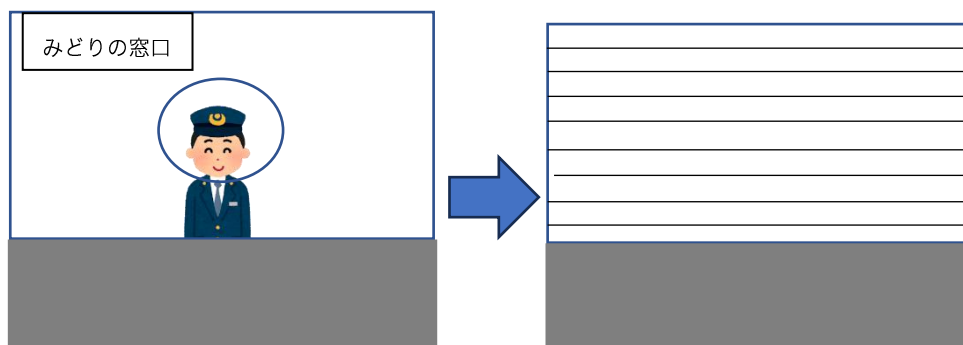
次々と減少するみどりの窓口

JR 東日本では次々とみどりの窓口を閉鎖し、窓口によらない販売体制の構築をつくり続けています。

みどりの窓口の閉鎖は新幹線や在来線特急の停車駅でも行われるようになっており、中央本線でも同じような状態です。

中央本線（八王子～塩尻）、篠ノ井線（塩尻～松本）みどりの窓口のある駅

- ・八王子
- ・大月
- ・甲府
- ・富士見
- ・下諏訪（2023年9月30日閉鎖予定）
- ・塩尻
- ・広丘
- ・村井
- ・平田
- ・南松本
- ・松本



この間にみどりの窓口がある駅はたったの **11 駅!**（10月1日以降 10 駅になる予定）

また、特急停車駅（臨時停車駅除く）のうちみどりの窓口が無い駅が、塩山、山梨市、石和温泉、萠崎、小淵沢、茅野、上諏訪、岡谷（このうち 9 割が 2020 年以降に相次いで閉鎖となっています）

みどりの窓口が閉鎖された駅では、

- ・改札での払い戻し申出証明対応が年間 1,000 件を超えており、みどりの窓口を設置してほしいというお客さまからの声が出ている。
 - ・指定席券売機での特急券の購入方法がわからず、駅社員が券売機の横で案内するケースが多い。
- といった状況が発生しています。

みどりの窓口でなければ対応できないケースが多くあり、現状のまま次々と閉鎖するのは利便性を低下させてしまうため、みどりの窓口を存続するべきです。



利便性を低下させない駅を

みんなで作っていきましょう！

